





審査結果報告書

2023年1月26日

主査氏名 松永 篤彦 

副査氏名 内山 勝文 

副査氏名 神谷 健太郎 

副査氏名 渡邊 知広 

1. 申請者氏名 : DM20024 二宮 一成

2. 論文テーマ :

Effects of perioperative exercise therapy combined with nutritional supplementation on functional recovery after fast-track total hip arthroplasty
(人工股関節全置換術後の機能回復に対する周術期運動療法と栄養補給の併用効果)

3. 論文審査結果 :

人工股関節全置換術 (THA) は疼痛の除去、さらには歩行移動を含めた日常生活活動 (ADL) を改善する有効な治療手段であることが知られています。一方、TKA 後に実施される運動療法の効果として、前述の ADL 能力の改善は認めるものの、下肢筋力等の身体機能の改善が遅延することが指摘されており、リハビリテーション治療内容の検討が大きな課題となっています。二宮一成氏の研究論文は上記の背景のもと、身体的フレイルを有する THA 後の筋力の回復に注目し、運動療法だけでなく栄養療法 (栄養補給) を加えた効果を検討しています。特に、前向き無作為比較試験を導入して運動療法単独、運動療法+栄養療法の効果の違いを検証した報告は殆どなく、貴重な研究報告と言えます。

結果として、TKA 側と対側の股関節外転筋ならびに両側の膝伸展筋力については運動療法+栄養療法が運動療法単独に比べて有意な改善を示したことを明らかにしています。近年、運動器疾患のみならずリハビリテーション対象疾患の高齢化が進んでおり、二宮氏が示した研究成果はリハビリテーション (運動療法) を効果的に組み立てるうえで有用な情報となり得ると思われます。また、二宮氏の研究は、実際の臨床業務に関わる中で見出された課題を的確な研究デザインに基づいて検証したものであり、今後も、医学博士号にふさわしい学術活動を永続することが期待できると思われます。

以上のことから、本研究論文は、博士号の学位に値すると判断いたしました。